

## ヨコハマ未来創造会議

## 「ヨコハマ未来創造会議」本格始動！

- 未来に挑む若者約100名が集い“フラッグアップ”イベントを開催しました
- 若者たちの活動を応援するサポーターを募集します

横浜市は、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催を契機に、20年・30年先の社会を担う現在の大学生や企業の若手社員の若者が参加して議論し、アクションを起こすきっかけとなるプラットフォームとして、「ヨコハマ未来創造会議」を令和5年度に立ち上げました。

この度、自然・人・社会が「共に持続するための最適解」を探求すべく、若者たちが自ら掲げたアイデアを発表し、「ヨコハマ未来創造会議」の本格始動を宣言するために、“フラッグアップ”と題したイベントを7月30日（火）に開催しました。同イベントには、若者の活動に伴走する「GREEN×CAPTAIN（グリーン・キャプテン）」を務めるタレントの秋元真夏さんや、活動に共感・賛同する応援パートナー等も駆けつけ、未来に向け動き出した若者たちを力強く応援いただきました。

また、本格始動した若者の活動に携わる方々の輪を広げ、「ヨコハマ未来創造会議」を未来に繋がる人とアイデアのプラットフォームとして発展させていくために、若者たちの活動を応援するサポーターを募集します。

## 1 「ヨコハマ未来創造会議」本格始動“フラッグアップ”イベントを開催しました

- 日時：令和6年7月30日（火） 18時～20時
- 会場：Vlag Yokohama（フラグヨコハマ）
- 参加者：大学生、企業の若手社員等 約100名
- 主なプログラム
  - ・開会挨拶 <山中市長>
  - ・本格始動宣言 <秋元様、分科会リーダー>
  - ・会員証お披露目 <秋元様、山中市長、分科会リーダー>
  - ・アイデア（分科会テーマ）発表 <分科会リーダー>
  - ・参加者の自由交流



本格始動に集結した若者たち

- “フラッグアップ” イベントでは、山中 竹春 横浜市長や若者に伴走する「GREEN×CAPTAIN」の秋元 真夏さん、活動をサポートいただく応援パートナー施設から、未来に向け動き出した若者たちを力強く応援するメッセージが寄せられ、若者たちが自ら掲げた5つのアイデア（分科会テーマ）を熱量高く発表しました。
- 今後、若者たちは自らのアイデアをもとにプロジェクトデザインを進め、12月に開催予定の最終発表会でプロジェクト提案を行う予定です。

## ◇開会挨拶（山中 竹春 横浜市長）

市長から、ヨコハマ未来創造会議の本格始動に寄せて、未来に向けて動き出した若者たちの活動に対する激励のメッセージが送られました。また、若者たちの活動への共感・賛同と応援の輪の広がりへの感謝とともに、今後の活動への期待をお伝えしました。



## ◇「ヨコハマ未来創造会議」会員証のお披露目

若者に伴走する「GREEN×CAPTAIN」の秋元 真夏さんと市長から、ヨコハマ未来創造会議のオリジナル会員証が初めて披露され、若者たちに手渡されました。会員証には、若者たちが気持ちをひとつに横浜の未来に向けて活動していけるよう、同会議のスローガン「あの時、横浜から。」が秋元さんの直筆で記されています。



会員証表面



会員証裏面

## ◇若者たちが掲げた5つのアイデア（分科会テーマ）発表

「サステナブル」「ネイチャーポジティブ」「サーキュラーエコノミー」「生物多様性」といったキーワードを有する5つのアイデアについて、若者たちがなぜそのアイデアの具現化を横浜で取り組むのかなどを熱く語りました。発表後、分科会活動をサポートいただく応援パートナー施設から、今後のプロジェクトデザインに対する期待感を醸成するアドバイスをいただきました。



サステナブルツーリズムから考える  
新たな観光要素「(仮)シン・ヨコハマ」の発掘！



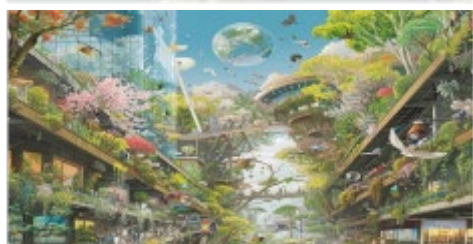
ネイチャーポジティブ×メンタルヘルスで生まれる  
持続可能なローカルコミュニティとは？



横浜の海で植物が育てられたら？



フードサーキュラーを起点に子どもの可能性を  
最大化するには？～学校給食のフードロス～



インクルーシブな横浜のグローバルコミュニティ  
から考える生物多様性を守るためのアクションとは？



プレゼンテーションする分科会リーダー

## 2 若者たちの活動を応援するサポーターを募集します！

若者たちの分科会活動の状況や最新のイベント情報、イベントレポートなどを閲覧できるウェブサイトを開発しました。同サイトの開設にあわせ、「ヨコハマ未来創造会議」を未来に繋がる人とアイデアのプラットフォームとして発展させていくために、活動を応援し活動に協力いただくサポーターとして、「コミュニティサポーター」と「応援パートナー施設」を同サイト上で募集します。若者たちと共に未来に挑んでいただける方々の登録をお待ちしています。

📄 「ヨコハマ未来創造会議」ウェブサイト URL : <https://yokohama-next-gen.com/>

### ◇ コミュニティサポーターとは

ヨコハマ未来創造会議の活動に共感・賛同し、活動を応援し協力いただける個人の方  
＜コミュニティサポーターになると＞

- ・活動状況やイベント情報などをメルマガジン（メルマガ）でお届けします
- ・メルマガでご案内するワークショップ等にお申し込みいただけます
- ・活動推進のためのアンケート回答や実証モニターなどに可能な範囲でご協力をお願いします

### ◇ 応援パートナー施設とは

ヨコハマ未来創造会議の活動に共感・賛同し、活動を応援し協力いただける施設  
＜主な登録条件＞

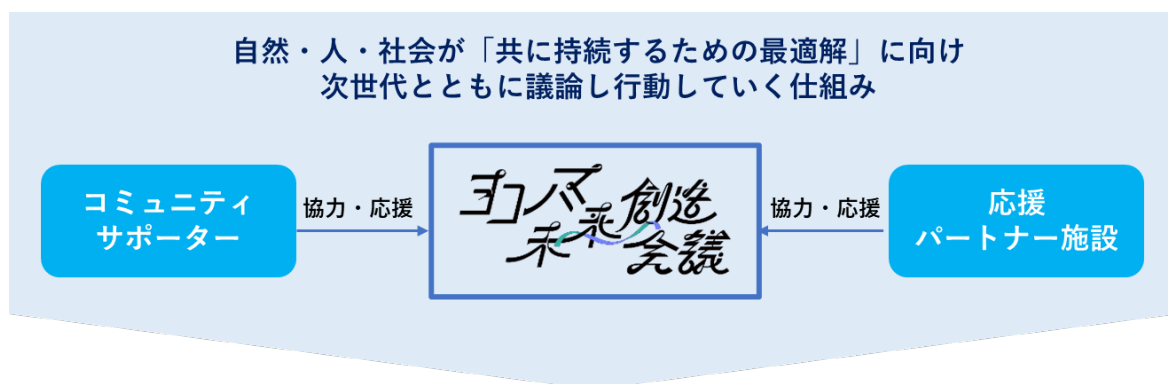
- ・主たる活動エリアが横浜市内であること

＜応援パートナー施設にお願いしたいこと＞

- ・活動場所の提供サポート
- ・施設利用者等とのマッチング・共創機会の提供サポート
- ・ヨコハマ未来創造会議のワークショップ等への参加
- ・その他、活動推進のための各種サポート

#### 【参考：現在ご登録いただいている応援パートナー施設】

- ・Vlag Yokohama（フラグヨコハマ） URL : <https://vlag.yokohama/>
- ・chilink WORKSITE MINATOMIRAI（チリンクワークサイトみなとみらい）  
URL : <https://keikyu-chilink.com/>
- ・PILE（パイル） URL : <https://pile.yokohama/>



未来に繋がる人とアイデアのプラットフォームへ

※ご登録を希望する個人や施設の方からのお問合せは、「ヨコハマ未来創造会議」ウェブサイト (<https://yokohama-next-gen.com/>) より事務局でお受けしています。

## 【参考】「ヨコハマ未来創造会議」の概要

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催を契機に、20年・30年先の社会を担う現在の大学生や企業の若手社員の若者が参加して議論し、アクションを起こすきっかけとなるプラットフォームとして、横浜市が令和5年度に立ち上げた会議体。

会議体での活動を通じて、次世代の当事者である若者をネットワーク化し、その新しい感性やアイデアなどを未来の横浜に繋げていきます。

### ■設置意義

#### 自然・人・社会が「共に持続するための最適解」

- プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）を意識し、これからの私たちの幸せな生き方の模索、Nature-Based Solutions＝自然を活用した解決策
- 日本の自然観や美意識、花と緑あふれる暮らし、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献
- 私たちが生きる地球環境の基盤である自然、植物への理解を深め、私たちもその一部として、共に明日へと生きていく

20年・30年先の社会を担う次世代と共に議論し、行動していく仕組み

#### 「ヨコハマ未来創造会議」の設置

### ■目指す姿



#### お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 戦略企画課担当課長 黒柳 純子 Tel 045-671-4934



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月横浜・上瀬谷

